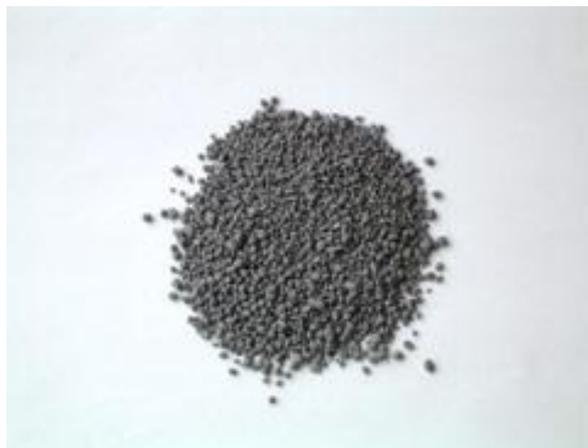


# 環境経営レポート

2024 年度版  
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)



作成：2025 年 5 月 31 日

木村管工株式会社



## 目次

1. 環境経営方針 .....	2
2. 事業の内容 .....	3
3. 環境経営目標とその実績 .....	12
4. 主な環境経営活動計画の内容 .....	13
5. 環境への取組状況 .....	14
6. 次年度の環境経営目標及び環境計画 .....	17
7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無 .....	18
8. 代表者による全体評価と見直しの結果 .....	18
9. 次回の活動予定内容 .....	19
10. 2024 年度受託した産業廃棄物の処理量 .....	19

## 1. 環境経営方針

木村管工株式会社は、会社の発展と地球環境保全との調和を積極的に進めるべく産業廃棄物の中間処理、資源リサイクルを独自の観点から積極的に推進し人間と自然との共生を図り、社会の持続的発展に寄与してまいります。

このように全社を挙げてこれからも地球環境保全に積極的に取り組んでまいります。

1. 環境への影響を調査及び評価し、当社の活動・製品及びサービスから発生する環境負荷を与えている主要因を効果的に低減または削減するために技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目的及び環境目標を定めます。
2. 環境改善計画を立案・実施し成果を評価して見直し、さらには次なる改善目標及び目標につなげるための環境マネジメントシステムを構築します。
3. 当社には順守しなくてはならない法律があります。これらの環境に関する法令・規制・条例・協定・その他近隣の方々との合意事項等を順守するのみならず先進の精神で積極的に環境保全を図ります。
4. 従業員に必要な教育・訓練を行い、環境保全意識が高く模範的行動がとれる人材を育成します。
5. 本社・各事業所で可能な範囲の美化運動を推進します。
6. 環境経営の継続的な改善を行い、環境経営方針を全従業員に周知します。
7. 次の項目については、積極的に推進します。
  - 全社を上げて水使用量・二酸化炭素排出量・電気使用量・化石燃料使用量・最終処分廃棄物等の削減への取組
  - 当社に廃棄物を持ち込む・持ち出す事業者に対してアイドリングストップの協力
  - リサイクル化の推進を通し社会に貢献
  - 廃棄物処理における環境配慮（重機の適切な運転、お客様の車両待機時間の短縮）
  - 中和薬剤等（希硫酸）の適切な管理を行う

令和6年7月1日

木村管工株式会社

代表取締役

木村 雅生

## 2. 事業の内容

### ①会社概要

会社名	木村管工株式会社
本社住所	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町 1120 番地 1
代表者	代表取締役 木村 雅生
資本金	1,000 万円
設立年月日	1979 年 3 月 13 日
外観	
取扱い産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず 廃アルカリ、鋳さい、がれき類、はいじん、政令 13 号物
事業内容	産業廃棄物の収集運搬及び処分（中間処理業）、リサイクル業 建設資材製造販売

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
従業員数（4 月現在）	69 名	73 名	68 名	68 名
売上（百万円）	1,287	1,289	1,322	1,392
中間処理量	27,783.5t	25,650.3t	23,979.8t	24,560.1t
収集運搬量	5,954.2t	6,034.4t	5,594.2t	6,237.8t
処理後の最終処分量	1,568.3t	1,346.6t	1,262.6t	2,560.2t

保有車両	セミトレ	1 台	4 t 車	3 台	軽トラック	1 台
	10 t 車	3 台	3 t 車	4 台	営業車	2 台

### ②所在地及び施設概要

保土ヶ谷今井事業所	
住所	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町 1151
保管面積（積替保管）	338.73 平方メートル
保管上限（積替保管）	693.49 立方メートル

積上高さ（積替保管）	2.5メートル
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
保有重機	バックホー 1台 ホイールローダー 1台 フォークリフト 1台
敷地面積	988㎡

上瀬谷事業所	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町 46-1
保管面積（積替保管）	449.08 平方メートル
保管上限（積替保管）	1018.15 立方メートル
廃棄物の種類（積替保管）	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
保管上限（積替保管・特管）	1.9 立方メートル
廃棄物の種類（特管）	廃油
処理能力（中間処理） 及び廃棄物の種類	圧縮：10.4 t/日（設置年月日：平成 2004 年 2 月 3 日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 最大保管量：14.6 立方メートル
保有重機	バックホー 3台 ホイールローダー 1台 フォークリフト 2台
敷地面積	3,910㎡

川崎岡上事業所	
住所	神奈川県川崎市麻生区岡上 1028
保管面積（積替保管）	75.1 平方メートル
保管上限（積替保管）	99.2 立方メートル
積上高さ（積替保管）	容器 1 段積みに限る
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず、がれき類
処理能力（中間処理）	圧縮：9.6 t/日（設置年月日：2004 年 3 月 15 日） 廃プラスチック類
保有重機	バックホー 1台 ホイールローダー 1台 フォークリフト 1台
敷地面積	1,251㎡

北町中間処理プラント	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区北町 20-20
保管面積（積替保管）	6.9 平方メートル
保管上限（積替保管）	8 立方メートル
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 ※石綿含有産業廃棄物を含むものに限る
処理能力（中間処理）	破碎①：78 t/日 （設置年月日：2001年5月23日） 木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 破碎②：4.98 t/日 （設置年月日：2001年5月23日） 廃プラスチック類 圧縮：8.32 t/日 （設置年月日：2004年2月3日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず 選別：160 t/日 （設置年月日：2017年1月12日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず 木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 最大保管量：490.89 立法メートル
保有重機	バックホー 3台 フォークリフト 1台
敷地面積	1,215 m <sup>2</sup>

資材再生プラント	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区目黒町 9-7
処理能力（中間処理）	分級造粒固化：210 t/日 （設置年月日：2009年10月1日） 木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 破碎：31.2 t/日 （設置年月日：2013年2月28日） ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 最大保管量：1959.08 立方メートル
保有重機	バックホー 2台 ホイルローダー 1台
敷地面積	3397.45 m <sup>2</sup>

③対象範囲

全組織、全活動

④環境管理責任者：担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：甲斐 淳一

担当者：雨宮 慧

連絡先：電話 045-351-9640 FAX045-351-9531

⑤許可内容

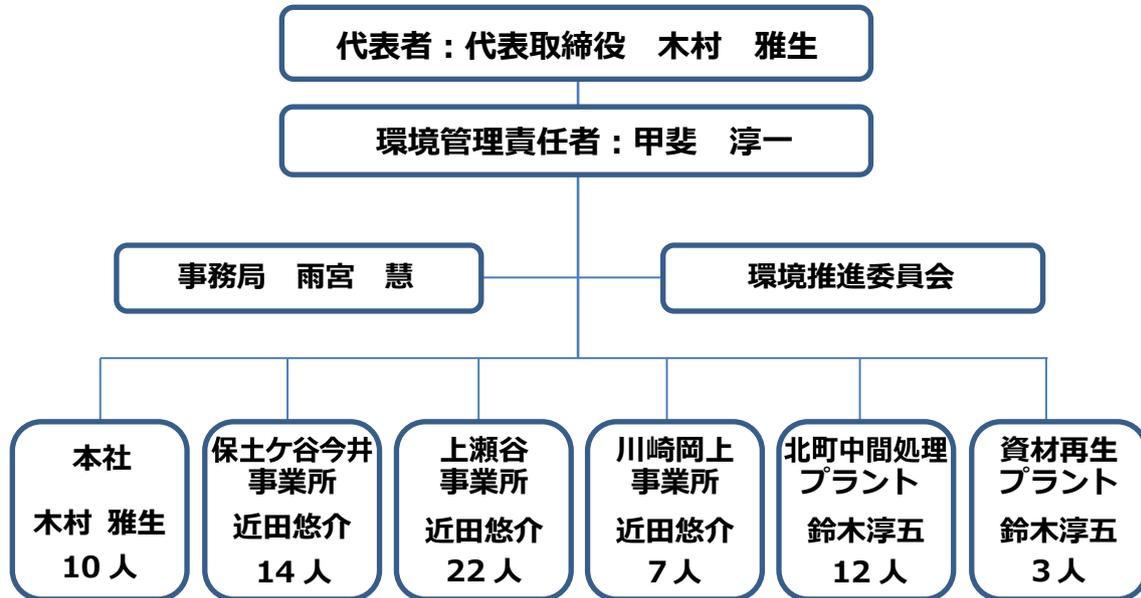
都道府県・市	業区分	許可番号	許可年月日	許可期限
横浜市 (※1)	処分	第05620001425号	2025年4月1日	2032年3月31日
川崎市 (※2)	処分	第05720001425号	2023年4月1日	2030年3月31日
横浜市 (※3)	収集運搬(積保)	第05610001425号	2025年4月1日	2032年3月31日
川崎市 (※4)	収集運搬(積保)	第05710001425号	2024年11月1日	2031年10月31日
神奈川県 (※5)	収集運搬	01402001425	2024年10月13日	2031年9月28日
東京都 (※6)	収集運搬	第13-00-001425号	2023年4月1日	2030年2月28日
千葉県 (※7)	収集運搬	第1200001425号	2023年8月17日	2030年8月31日
群馬県 (※8)	収集運搬	01000001425	2018年9月10日	2025年9月9日
埼玉県 (※9)	収集運搬	01100001425	2024年2月3日	2031年2月2日
静岡県 (※10)	収集運搬	第02201001425号	2021年9月2日	2028年9月1日
栃木県 (※11)	収集運搬	00900001425	2023年3月14日	2030年3月13日
茨城県 (※12)	収集運搬	00801001425	2023年12月4日	2030年10月11日
横浜市 (※13)	収集運搬(特管)	第05660001425号	2024年5月1日	2031年4月30日
神奈川県 (※14)	再生事業者	第G00241号	2023年4月14日	—

〔備考：許可を受けた産業廃棄物の種類〕

- (※1) (1)破砕：廃プラスチック類、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類  
(2)圧縮：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず  
(3)選別：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類  
(4)分級・造粒固化：木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（上記物は特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
- (※2) 圧縮梱包：廃プラスチック類（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
- (※3) (1)収集・運搬（積替え及び保管を除く）  
汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、廃油、廃プラスチック類（水銀使用製品産業廃棄物を含む及び石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）（上記物はいずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く。）  
(2)収集・運搬（積替え及び保管を含む）  
汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、廃油、廃プラスチック類（水銀使用製品産業廃棄物を含む及び石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）（上記物はいずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
- (※4) (1)収集・運搬（積替え及び保管を含む）  
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）  
(2)収集・運搬（積替え及び保管を除く）  
燃え殻、汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、廃油、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む及び水銀使用製品産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず（石綿含有産業廃棄物を含む及び水銀使用製品産業廃棄物を含む）、鉞さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
- (※5) 燃え殻、汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、廃油、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、鉞さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん
- (※6) 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鉞さい、がれき類、ばいじん法令13号物（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）
- (※7) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物を除く）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※8) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※9) 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※10) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、鉞さい、ばいじん
- (※11) 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※12) 燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く。）、汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。）、廃油（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※13) 廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）
- (※14) ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類の再生

⑥組織図及び役割

## 木村管工株式会社の環境組織体制図



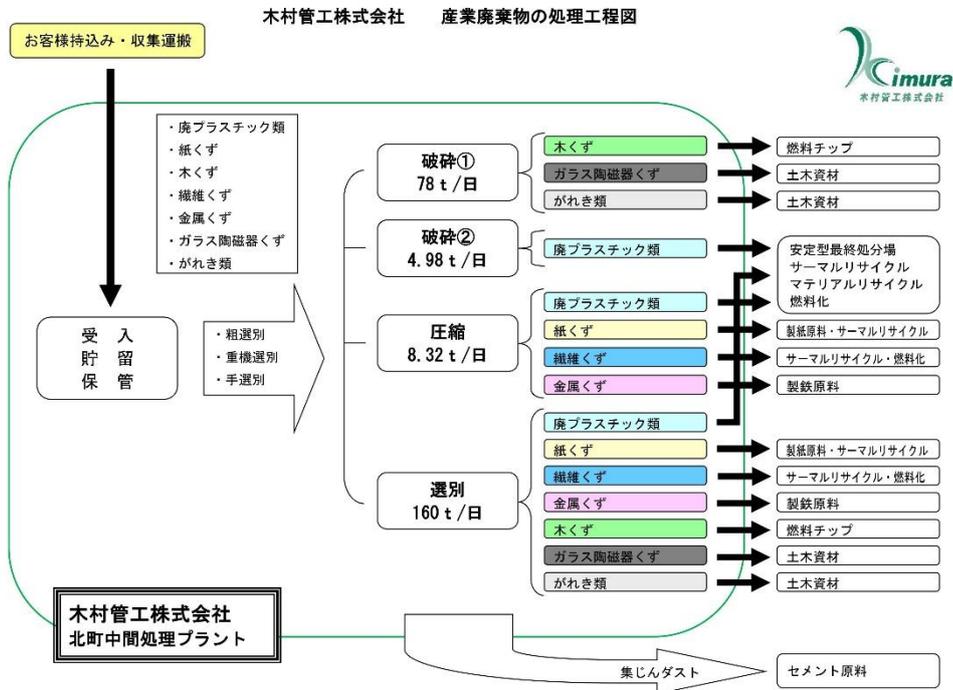
木村管工株式会社の環境組織における役割・責任・権限	
<b>代表者</b> 代表取締役 木村 雅生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション 21 運営に関する統括責任及び環境管理責任者の任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しの実施</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
<b>環境管理責任者</b> 甲斐 淳一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション 21 システムの構築、実施、管理責任</li> <li>・各事業所の環境活動の取組結果を代表者への報告</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
<b>事業所長</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の職場への周知</li> <li>・所内の環境目標・環境活動計画の実行と活動の確認。</li> <li>・所内の環境目標・環境活動計画の是正処置の実行</li> </ul>
<b>環境推進委員会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標、環境活動計画の伝達</li> <li>・社員の意思統一、環境活動の実施状況の確認</li> <li>・環境活動の目標達成状況、問題点などの報告</li> </ul>
<b>環境事務局</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、全社の環境目標の立案・企画</li> <li>・エコアクション 21 システムの要求規格への対応</li> <li>・環境関連の外部への窓口及び審査対応</li> <li>・環境活動計画書の作成と運用</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成と順守評価</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開</li> <li>・環境への取組の自己チェック及び環境への負荷の自己チェック</li> </ul>
<b>全社員</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚と実践</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

⑦有資格者一覧（2025年3月末時点）

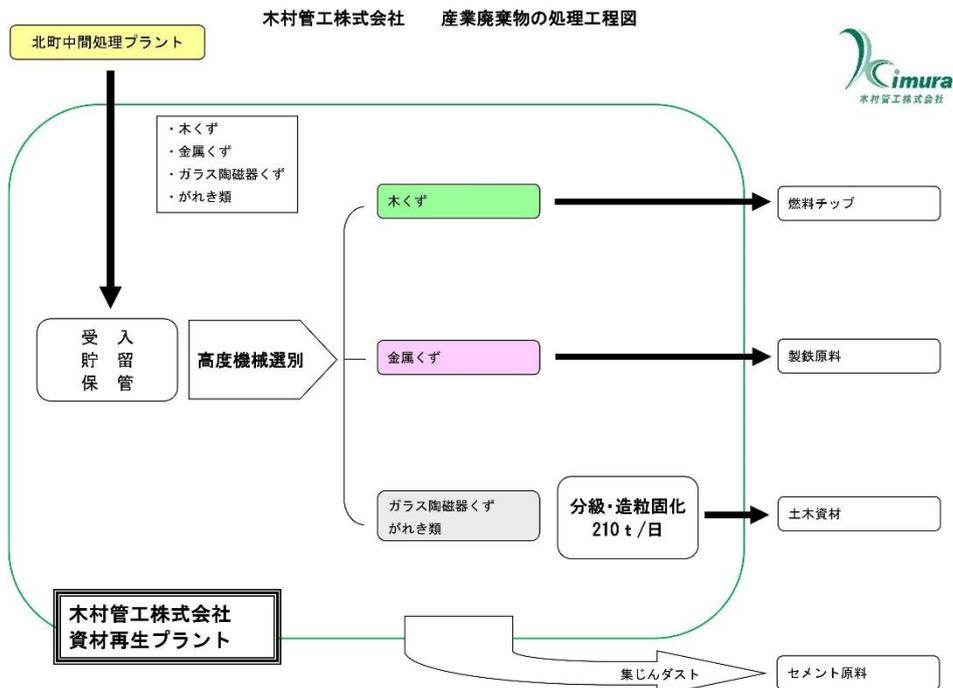
資格・講習・特別教育	人数	資格・講習・特別教育	人数
破碎・リサイクル施設技術管理士	7	3級ファイナンシャル・プランニング技能士	1
車両系建設機械運転技能講習	27	サービス接遇実務検定2級	1
車両系建設機械運転技能講習（解体）	10	トレース技能検定2級	1
フォークリフト運転技能講習	31	自衛消防業務講習	1
中型自動車免許	36	自衛消防技術認定証	1
普通自動車免許	2	低電圧取扱技工	1
大型自動車免許	10	普通救命講習	1
大型特殊自動車免許	3	上級救命講習	1
普通自動二輪	16	現場派遣員基礎講習	1
原付自動車	15	自動車単種目普通資格	1
大型自動二輪	2	自動車整備検査員	1
けん引免許	2	玉掛作業	1
クレーン運転	1	酸素欠乏危険作業	2
小型移動式クレーン運転技能講習	5	職長安全衛生教育	1
床上操作式クレーン	2	職長・安全衛生責任者	4
小型車両系建設機械	1	ボイラー取付技能講習	1
安全衛生推進者	6	研削といしの取換え等の業務	2
安全管理者専任時研修終了	1	産業廃棄物収集運搬車両運転手	6
職長教育終了	2	小型船舶操縦免許	1
土止支保工作作業主任者	2	研削といしの取扱者特別教育	1
酸素欠乏危険作業主任者	4	締固め機	1
有機溶剤作業主任者	1	電気取扱業務	1
足場の組立て等作業主任者	1	土木工事の現場安全施工管理	1
宅地建物取引主任者	1	特定粉じん作業	1
3級自動車ガソリンエンジン整備士	2	行政書士	1
2級ガソリン自動車整備士	1	汚染土壌運搬担当者講習	1
2級ジーゼル自動車整備士	1	適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会	1
危険物取扱乙種第4種取扱者	1	足場の組立て等特別教育	1
玉掛技能講習	11	廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）	7
ガス溶接技能講習	6	マイクロソフトオフィススペシャリスト	1
アーク溶接技能講習	4	最終処分場技術管理士	1
特定化学物質等作業主任者技能講習	4	産業廃棄物処理eラーニング講座（廃棄物処理法基礎）	9
高所作業車運転技能講習	5	産業廃棄物処理eラーニング講座（収集運搬現場業務）	6
地山の掘削作業主任者講習	2	産業廃棄物処理eラーニング講座（中間処理現場業務）	8
石綿取扱い作業従事者特別教育	1	メンタルヘルスマネジメントⅡ種	1
2級土木施工管理技士	2	調理師	1
簿記3級	3	電気工事士	1
第二種衛生管理者	1	冷媒回収技術者	1

⑧処理工程図

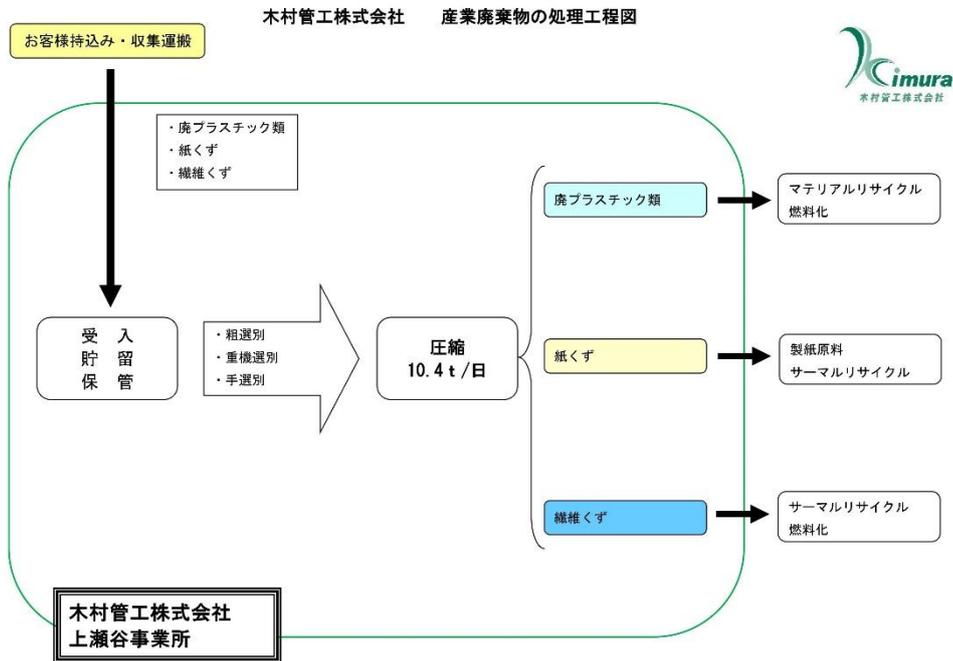
・北町中間処理プラント



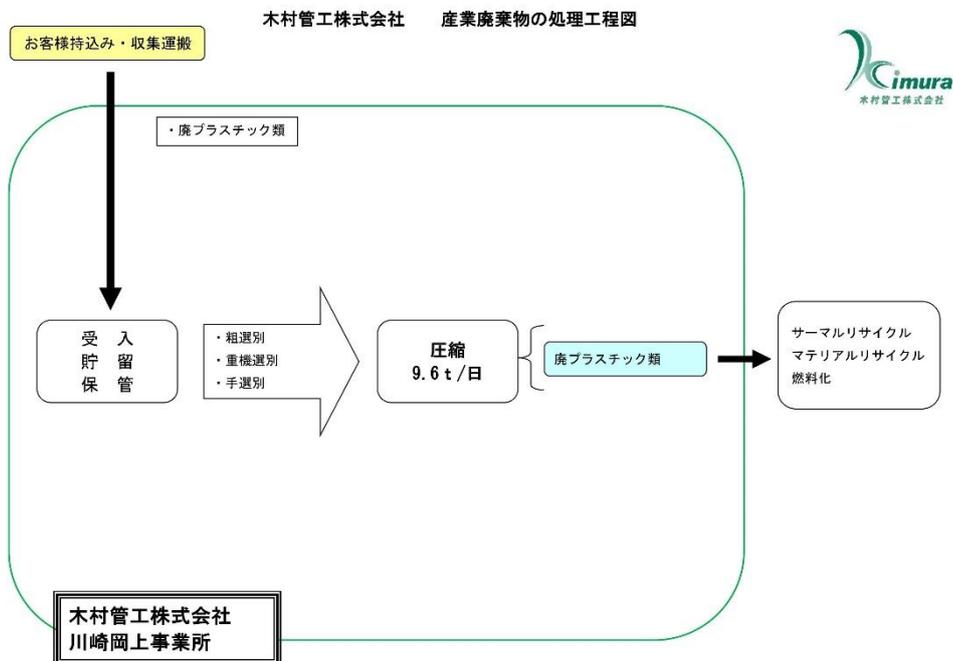
・資材再生プラント



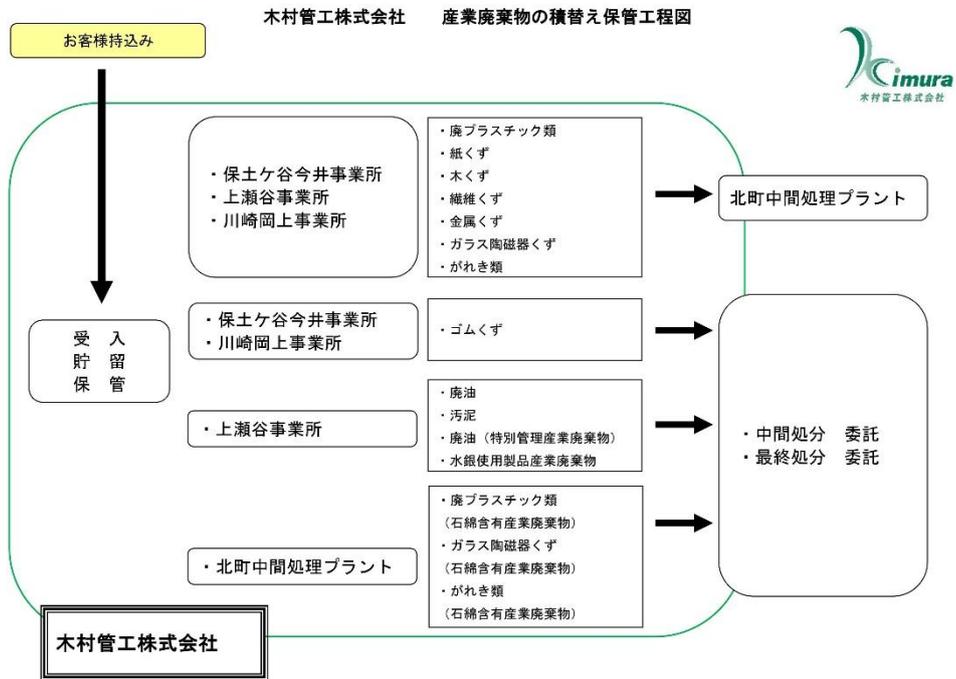
・上瀬谷事業所



・川崎岡上事業所



・積替え保管工程図



### 3. 環境経営目標とその実績

#### ①環境経営目標

木村管工株式会社は、会社の発展と地球環境保全との調和を積極的に進めるべく、産業廃棄物の中間処理・資源リサイクルを独自の観点から積極的に推進し、最終処分量（率）を低減し人間と自然の共生を図り、社会の持続的発展に寄与して参ります。

環境負荷と環境への取組結果を踏まえ定めた環境負荷低減のための目標と実績は次の通りである。

#### ②中期環境負荷低減目標（2024年度から2026年度までの中期目標）

アウトプット項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
電力使用量削減 ①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比1%削減	kwh/年	①使用量 60,997.0 ①二酸化炭素排出量 30,132.5 ②使用量 244,112.0 ②使用率 5.05993 ②二酸化炭素排出量 118,394.3 ※総二酸化炭素排出量 148,526.8	① 使用量 60,387.0 ① 二酸化炭素排出量 29,831.2 ② 使用量 241,670.9 ③ 使用率 5.00933 ②二酸化炭素排出量 117,210.4 ※総二酸化炭素排出量 147,041.5	① 使用量 59,783.2 ① 二酸化炭素排出量 29,532.9 ② 使用量 239,254.2 ②使用率 4.95924 ②二酸化炭素排出量 116,038.3 ※総二酸化炭素排出量 145,571.1	① 使用量 59,185.3 ① 二酸化炭素排出量 29,237.5 ② 使用量 236,861.6 ②使用率 4.90965 ②二酸化炭素排出量 114,877.9 ※総二酸化炭素排出量 144,115.4
軽油使用量削減（車両） ①産業廃棄物の収集運搬量に対する使用率を、前年度比1%削減 軽油使用量削減（重機） ②産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比1%削減	ℓ/年	①使用量 98,488.0 ①使用率 0.05932 ①二酸化炭素排出量 254,099.0 ②使用量 109,255.1 ②使用率 0.91315 ②二酸化炭素排出量 281,878.2 ※総二酸化炭素排出量 535,977.2	① 使用量 97,503.1 ①使用率 0.05873 ①二酸化炭素排出量 251,558.0 ② 使用量 108,162.5 ③ 使用率 0.90402 ②二酸化炭素排出量 279,059.4 ※総二酸化炭素排出量 530,617.4	① 使用量 96,528.1 ①使用率 0.05814 ①二酸化炭素排出量 249,042.4 ② 使用量 107,080.9 ③ 使用率 0.89498 ②二酸化炭素排出量 276,268.8 ※総二酸化炭素排出量 525,311.3	① 使用量 95,562.8 ①使用率 0.05756 ①二酸化炭素排出量 246,552.0 ② 使用量 106,010.1 ③ 使用率 0.88603 ②二酸化炭素排出量 273,506.1 ※総二酸化炭素排出量 520,058.1
ガソリン使用量削減 産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比1%削減	ℓ/年	使用量 1,762.0 使用率 0.07287 二酸化炭素排出量 4,087.8	使用量 1,744.4 使用率 0.07214 二酸化炭素排出量 4,046.9	使用量 1,726.9 使用率 0.07142 二酸化炭素排出量 4,006.5	使用量 1,709.7 使用率 0.07071 二酸化炭素排出量 3,966.4
二酸化炭素排出量削減 産業廃棄物の受入れ量に対する排出率を、前年度比1%削減	kg-co2/年	排出量 690,178.4 排出率 28.73224	排出量 683,276.6 排出率 28.44492	排出量 676,443.8 排出率 28.16047	排出量 669,679.4 排出率 27,87886

水使用量削減 ①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ量に対しての使用率を、前年度比1%削減	m <sup>3</sup> /年	①使用量 485.0 ②使用量 2,365.0 ②使用率 0.02468	①使用量 480.2 ③使用量 2,341.4 ②使用率 0.02443	①使用量 475.3 ②使用量 2,317.9 ②使用率 0.02419	①使用量 470.6 ②使用量 2,294.8 ②使用率 0.02395
廃棄物排出量削減 産業廃棄物の受入れ量に対しての排出率を、前年度比1%削減	Kg/年	排出量 1,262.6 排出率 0.05265	排出量 1,250.0 排出率 0.05212	排出量 1,237.5 排出率 0.05160	排出量 1,225.1 排出率 0.05109
化学物質使用量削減 (中和剤の管理漏洩ゼロ)	件	0.0	0.0	0.0	0.0
収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善 ①リサイクル率の向上 ②搬入車両の待機時間 20分以内	% 件	①94.7 ②0	94.8 0.0	94.9 0.0	95.0 0.0

※目標値：2023年度実績を基準に2026年度まで設定。

※リサイクル率＝再資源物・中間処理後再資源化物／搬入量

※目標設定時の購入電力の二酸化炭素排出係数：0.494kg-co2/kwh、0.485kg-co2/kwhを使用した。

※収集運搬業務に力を入れるため化石燃料（軽油・ガソリン）の使用量増加が見込まれる。

※積極的な営業活動を行い、仕事量が増えていくと思うが各使用量を抑えたい。

※事業所により目標設定が異なる。

### ③中期環境負荷低減実績（2019年度から2023年度までの実績）

アウトプット項目	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績
電力使用量	kwh/年	433,962.2	358,239.0	345,351.0	311,220.0	305,109.0
軽油使用量	ℓ/年	282,027.9	255,651.3	230,816.5	213,772.5	207,743.1
ガソリン使用料	ℓ/年	5,721.9	5,425.7	4,775.6	3,514.4	1,762.0
二酸化炭素排出量	kg-co2/年	968,775.8	898,825.3	771,318.7	712,399.6	690,165.9
水使用量	m <sup>3</sup> /年	5,567.0	3,557.0	4,012.0	4,031.0	4,118.0
リサイクル率の向上	%	92.5	94.8	94.4	94.7	94.7
中和剤の管理（漏洩）	件	0	0	0	0	0
環境配慮（搬入車両の待機時間 20分以内）	件	0	0	0	0	0

※リサイクル率＝再資源物・中間処理後再資源化物／搬入量

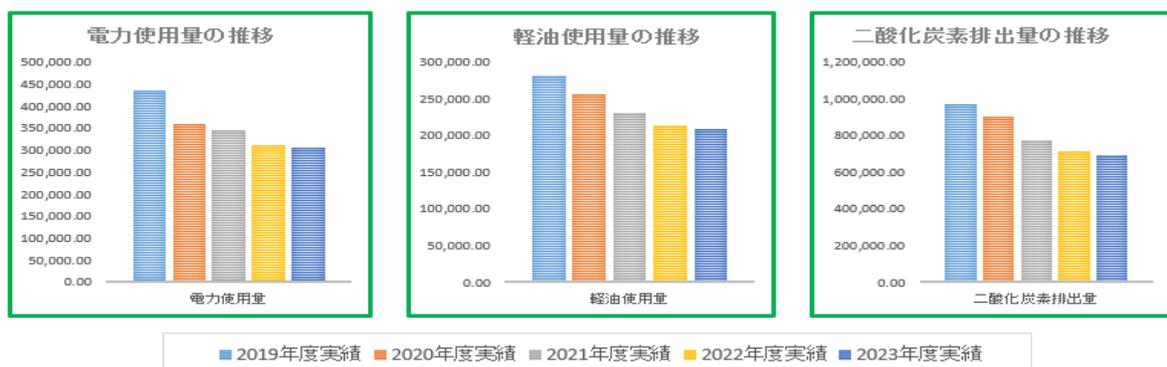
※購入電力の排出係数：2019年度は0.577kg-co2/kwh

2020年度は0.541kg-co2/kwh、0.601kg-co2/kwh、0.476kg-co2/kwh

2021年度は0.485kg-co2/kwh、0.361kg-co2/kwh、0.476kg-co2/kwh

2022年度、2023年度は0.494kg-co2/kwh、0.485kg-co2/kwh

#### ●「二酸化炭素排出量」と排出量に大きく関わる「電力使用量」と「軽油使用量」の推移グラフ



## 4. 主な環境経営活動計画の内容

当社の主要な環境保全に向けた具体的な取組内容を以下に示す。

- ①総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量削減
  - 社用車の効率的な運転の推進
  - 無駄なアイドリングをせず、アクセルむらのない運転の推進
  - 排出ガス削減型の建設機械の選定
  - 重機の効率的な使用
  - 昼休みの照明消灯（減灯）
  - 保有重機の使用頻度の見直しによる減車
- ②廃棄物（一般廃棄物）最終処分量削減
  - 紙類の分別回収による資源化
  - 裏紙の使用
  - 弁当を容器再使用業者からの購入
- ③廃棄物（産業廃棄物）最終処分量削減
  - 自社プラントによって再資源化された改良砂・改良土の製造販売
  - 金属類の分別回収による再資源化
  - ダンボールなどの紙くずの分別回収による再資源化
  - 新しいリサイクル搬出先の確保
  - 分別の徹底
- ④水資源投入量削減
  - 節水コマの設置
  - 効率的な散水
- ⑤環境経営システムに関わる取組実施率向上
  - 社内コミュニケーションの活性化による情報の共有

## 5. 環境への取組状況

環境活動の取組結果の評価

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理担当部門が環境への取組結果の評価を行った。

評価結果は次の通りである。

アウトプット項目	単位	2024 年度目標	2024 年度実績	評価
電力使用量削減 ①前年比 1%削減 ②産業廃棄物の受入れ 量に対しての使用率を、 前年度比 1%削減	kwh/年	①使用量 60,387.0	①使用量 67,166.0	①×  ②達成
		①二酸化炭素排出量 29,831.2	①二酸化炭素排出量 33,180.0	
		②使用量 241,670.9	②使用量 227,501.0	
		②使用率 5.00933	②使用率 4.66725	
		②二酸化炭素排出量 117,210.4	②二酸化炭素排出量 110,338.0	
		※総二酸化炭素排出量 147,041.5	※総二酸化炭素排 143,518.0	

軽油使用量削減（車両） ①産業廃棄物の収集運搬量に対する使用率を、前年度比 1%削減 軽油使用量削減（重機） ②産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比 1%削減	ℓ/年	①使用量 97,503.1 ①使用率 0.05873 ①二酸化炭素排出量 251,558.0 ②使用量 108,162.5 ②使用率 0.90402 ②二酸化炭素排出量 279,059.4 ※総二酸化炭素排出量 530,617.4	①使用量 93,772.7 ①使用率 0.06630 ①二酸化炭素排出量 241,933.5 ②使用量 112,823.5 ②使用率 0.92351 ②二酸化炭素排出量 291,084.6 ※総二酸化炭素排出量 533,018.1	①×       ②×
ガソリン使用量削減 産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比 1%削減	ℓ/年	使用量 1,744.4 使用率 0.07214 二酸化炭素排出量 4,046.9	使用量 2,474.0 使用率 0.10083 二酸化炭素排出量 5,743.9	×
二酸化炭素排出量削減 産業廃棄物の受入れ量に対する排出率を、前年度比 1%削減	kg-co2/年	排出量 683,276.6 排出率 28.44492	排出量 683,891.3 排出率 27.99348	達成
水使用量削減 ①前年比 1%削減 ②産業廃棄物の受入れ量に対する使用率を、前年度比 1%削減	m <sup>3</sup> /年	①使用量 480,-2 ②使用量 2,341.4 ②使用率 0.02443	①使用量 432.0 ②使用量 2,536.0 ②使用率 0.02609	①達成   ②×
廃棄物排出量削減 産業廃棄物の受入れ量に対する排出率を、前年度比 1%削減	Kg/年	排出量 1,250.0 排出率 0.05212	排出量 2,560.2 排出率 0.10424	×
化学物質使用量削減 （中和剤の管理漏洩ゼロ）	件	0.0	0.0	達成
収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善 ①リサイクル率の向上 ②搬入車両の待機時間 20 分以内	% 件	94.8 0.0	①89.6 ②0	①× ②達成

#### 【是正・予防策】

##### ●電気使用量削減

- ・今年度の電気使用量削減は北町中間処理プラントと資材再生プラントが目標を達成することができた。プラントの稼働には大きな電力消費がかかるので、プラント事業所が目標を達成できたことはすばらしい。また、受入 3 事業所では受入量も増え、年々変わってきた気候にも左右され目標が未達となった。来期も厳しい天候が続くと思うが、取り組みをしっかりと行っていく。

#### 【是正を行った期】

- ・本社 : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・保土ヶ谷今井事業所 : 4-6 月期、10-12 月期
- ・上瀬谷事業所 : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・川崎岡上事業所 : 4-6 月期、1-3 月期

・北町中間処理プラント : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期

●軽油使用量削減

・今年度の軽油使用量削減は収集運搬も各事業所作業でも目標を達成することが出来なかった。  
軽油使用量削減は二酸化炭素排出量に大きく関わってくるので、作業効率や運搬経路・アイドリングストップなど地道な作業を確実に出来るように周知し取り組む。

【是正を行った期】

・本社 : 4-6 月期、10-12 月期、1-3 月期  
・保土ヶ谷今井事業所 : 7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期  
・上瀬谷事業所 : 4-6 月期  
・川崎岡上事業所 : 7-9 月期、1-3 月期  
・北町中間処理プラント : 7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期  
・資材再生プラント : 4-6 月期、7-9 月期、1-3 月期

●水使用量削減

・前年度より受入量が増加した分、粉塵防止の散水量が増え、水使用量が増えた。受入れ量に対しての使用率が悪くならないように効果的に使用できるよう改善を行っていく。

【是正を行った期】

・本社 : 4-6 月期  
・保土ヶ谷今井事業所 : 7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期  
・上瀬谷事業所 : 4-6 月期、7-9 月期  
・川崎岡上事業所 : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期  
・北町中間処理プラント : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期

●ガソリン使用量の削減

・昨年度よりも外に出て営業活度を行う回数が増えたこともあり、今年度は目標を達成することはできなかったが、お客様と顔を併せて話す機会を多くして経営に寄与できるよう努める。

【是正を行った期】

・本社 : 4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期

●廃棄物排出量の削減 及び 収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善(リサイクル率)

・選別制度を高め削減に取り組むように是正しているが、エコサンドの販売が思うように進まない年度だったため最終処分が増え目標を達成することが出来なかった。来期はエコサンドの販売に注力して改善を図る。

## 6. 次年度の環境経営目標及び環境計画

環境経営目標			環境経営計画
項目	内容	目標値	指針
電力使用量削減	①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ量に対するの使用率を前年度比1%削減	①使用量 : 59,783.2 ①二酸化炭素排出量 : 29,532.9 ②使用量 : 239,254.2 ②使用率 : 4.95924 ②二酸化炭素排出量 : 116,038.3 ※総二酸化炭素排出量 : 145,571.1	◎昼休みの消灯・節電、冷暖房の設定温度調整 ◎効率的なプラント運営 ◎待機電力の削減・コンセントを抜く ◎クールビズ・ウォームビズ ◎適宜、空調設備の清掃をする
軽油使用量削減	(車両) ①産業廃棄物の収集運搬量に対するの使用率を前年度比1%削減 (重機) ②産業廃棄物の受入れ量に対するの使用率を前年度比1%削減	①使用量 : 96,528.1 ①使用率 : 0.05814 ①二酸化炭素排出量 : 249,042.4 ②使用量 : 107,080.9 ②使用率 : 0.89498 ②二酸化炭素排出量 : 276,268.8 ※総二酸化炭素排出量 : 525,311.3	◎適度な暖機運転 ◎急発進・急ブレーキ・空ぶかしの禁止、アイドリングストップ ◎効率的な分別作業の実施 ◎効率的な重機の使用、省エネを考えた重機の運転
ガソリン使用量削減	産業廃棄物の受入れ量に対するの使用率を、前年度比1%削減	使用量 : 1,726.9 使用率 : 0.07142 二酸化炭素排出量 : 4,006.5	◎無駄なアイドリングをしない ◎効果的な運転経路を心掛ける ◎車のメンテナンスをする
二酸化炭素排出量削減	産業廃棄物の受入れ量に対するの排出率を、前年度比1%削減	排出量 : 676,443.8 使用率 : 28.16047	◎電気使用量と軽油使用量が多くウエイトを占めるので、この2項目に注力をする
水使用量削減	①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ量に対するの使用率を前年度比1%削減	①使用量 : 475.3 ②使用量 : 2,317.9 ②使用率 : 0.02419	◎節水コマの使用 ◎効率的な散水 ◎こまめに使用量の削減
廃棄物排出量削減	産業廃棄物の受入れ量に対するの排出率を、前年度比1%削減	排出量 : 1,237.5 排出率 : 0.05160	◎廃棄物の再資源化 ◎新しいリサイクル搬出先の確保
化学物質使用量削減	中和剤の管理(漏洩ゼロ)	漏洩件数 : 0.0	◎中和剤の管理を徹底する ◎毎日の点検などを忘れずに行う
収集運搬・処分における環境配慮及びサービスの改善	①リサイクル率の向上 ②搬入車両の待機時間20分以内	①リサイクル率 : 94.9 ②待機時間超過件数 : 0.0	◎事業場内の整理整頓を心掛け、場内の動線を効率よくする ◎円滑な選別を心掛け待機時間を短くする。 ◎リサイクル設備の効果的な稼働

※目標値：2022年度実績を基準に設定。

※リサイクル率＝再資源物・中間処理後再資源化物／搬入量

※目標設定時の購入電力の二酸化炭素排出係数：0.494kg-co2/kwh、0.485kg-co2/kwhを使用した。

※収集運搬業務に力を入れるため化石燃料(軽油・ガソリン)の使用量増加が見込まれる。

※積極的な営業活動を行い、仕事量が増えていくと思うが各使用量を抑えたい。

※事業所により目標設定が異なる。

## 7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規は、下表に示す。

内容	法規遵守結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律※施行令、施行規則含む	適合
家電リサイクル法	適合
騒音規制法	適合
振動規制法	適合
消防法	適合
労働安全衛生法	適合
じん肺法	適合
道路運送車両法	適合
自動車Nox・PM法	適合
毒物及び劇物取扱法	適合
下水道法	適合
浄化槽法	適合
横浜市生活環境の保全に関する条例	適合
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	適合
フロン排出抑制法	適合
近隣住民との協定	適合

※環境関連法規制への違反はありません。

なお、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

### ●今期の取組状況の評価

- ・今期目標達成した項目は「電気使用量削減②」、「二酸化炭素排出量削減」、「水使用量削減①」、「化学物質使用量削減」、「環境配慮及びサービスの改善②」の5項目において目標を達成でき、目標達成項目が前年度より1項目減という結果になった。昨年度の6項目から比べ1項目と少し後退する結果となった。北町中間処理プラントと資材再生プラントにおいては計画運休を導入し効果的な動力削減が見られるが、受入れ三事業所（保土ヶ谷・上瀬谷・岡上）は電気動力の使用量が多くなってきているので、作業手順を見直すなど一層の努力を行っていく。エコアクションに経営的目線が求められるようになってきているので、各従業員も行っている自身の作業が経営的につながっていることを周知していく。

### ●見直し・指示

- ・今期は「電気使用量削減①」「軽油使用量削減①」「軽油使用量削減②」「水使用量の削減②」「ガソリン使用量削減」「廃棄物排出量の削減」「環境配慮及びサービスの改善(リサイクル率)」の7項目が達成できなかった。重機・トラックの燃料である軽油の削減ができなかったが、

軽油使用料が大きく関与する「二酸化炭素排出量削減」ができたことは全体として削減意識が身についたと言えるのかもしれない。朝礼・夕礼で何度も何度も繰り返し削減に対する行動を周知して目標に取り組んでいく。昨年と同じことだが従業員全体が取り組みに意識を向けなくては目標を達成できないため、定期的な活動の見直し改善するところと継続していく取り組みを共有していく。

● 来期への課題

- ・ 今期の結果を振り返ると、総合的な判断基準としての「二酸化炭素排出量削減」は達成できたことが素晴らしかった。個々の目標を大きく下回ることなく活動出来た結果だと言える。単年度の達成として考えるのではなく、中長期的に意識して取り組みし、結果を喜ぶことで達成感を得ることを大きな糧として次年度以降の取り組みの活動意欲としていく。今年度も然り、近隣環境への配慮を怠らず良好な関係を引き続き維持していく。特定の従業員のみが関係を築くのではなく、各事業所が事業所全体として地域社会と関係をしっかりと築いていく。

## 9. 次回の活動予定内容

円安により資源・処理費・備品などの必要経費が大きくなっている中、顧客に対しても適正な価格を検討し継続的な経営ができるよう対処していく。また、選別精度をあげ処分コストをかけないように取組みを昨年同様に図る。人材面においても従業員の年齢が年々と高くなっていく中、若手の採用に尽力を尽くしていく。女性従業員の雇用が積極的でき女性視点から社内環境・社外環境を整備し改善がみられるようになってきた。

次回の環境レポート作成予定日は、2026年6月上旬

## 10. 2024年度受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
(i) 収集運搬	廃プラスチック類		1,020.10
	金属くず		217.10
	ガラス陶磁器くず		854.70
	がれき類		2,125.00
	紙くず		215.30
	木くず		1,583.50
	繊維くず		18.70
収集運搬量合計			6,034.40
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	破砕	1,578.30
		圧縮	173.00
		選別	962.60
	金属くず	圧縮	0.00
		選別	1,123.50
	ガラス陶磁器くず	破砕	4,334.00
		選別	4,720.80
	がれき類	破砕	1,865.90
		選別	3,104.50
	紙くず	圧縮	102.70
		選別	759.00
木くず	破砕	1,561.20	

		選別	3,838.70	
	繊維くず	圧縮	53.20	
		選別	382.60	
うち 再資源化 等 (有償)	廃プラスチック類	圧縮・選別/マテリアルリサイクル (売却)	148.67	
	金属くず	圧縮・選別/製鉄原料 (売却)	1,030.65	
	ガラス陶磁器くず	破碎/破碎・造粒固化	4,286.77	
	がれき類	破碎/破碎・造粒固化	1,837.19	
	紙くず	圧縮・選別/製鉄原料 (売却)	328.85	
	小計		7,632.13	
中間処理合計			24,560.00	
(iii) 最終処分	廃プラスチック類		0.0	
	ガラス陶磁器くず		0.0	
	がれき類		0.0	
最終処分量合計			0.0	
(iv) 中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	安定型埋立 (委託)	1,586.10
		ガラス陶磁器くず	管理型埋立 (委託)	622.79
		がれき類	管理型埋立 (委託)	351.29
	中間処理 (再資源化等)	廃プラスチック類	燃料化・マテリアルリサイクル等 (委託)	979.13
		金属くず	製鉄原料	92.85
		ガラス陶磁器くず	建設資材化等 (委託)	4,115.95
		がれき類	建設資材化等 (委託)	2,765.85
		ガラス陶磁器くず・がれき類	セメント原料 (委託)	45.36
		紙くず	製紙原料・焼却・熱利用 (委託)	532.85
		木くず	燃料チップ化・サーマルリサイクル等 (委託)	5,399.90
		繊維くず	燃料化・サーマルリサイクル等 (委託)	435.80
		再資源化等量小計		14,367.69
中間処理後処分量合計			16,927.87	